



校庭芝生化に係る情報交換会

「芝生化している学校の状況報告」

神奈川県教育委員会教育局
指導部保健体育課
学校体育グループ

令和4年12月2日（金）

目的

校庭の芝生化を普及・定着させるため、得られるメリットを明らかにすることや、芝生化を阻害する要因、芝生化後の課題を明確にすることが必要である。

そこで、校庭の芝生化に「取り組んでいる」及び「これから取り組もうとしている」学校やその学校を所管する市町村教育委員会が情報を共有でき、学校間で連携を図ることができるよう情報提供をする。

願い

- 芝生化に取り組んでいる学校の状況をお伝えし、これから芝生化に取り組みたい学校を増やしていきたい！！

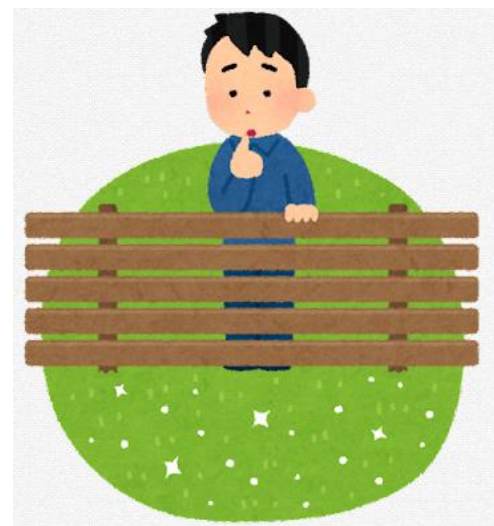
保健体育課で、芝生化をしている3校に視察に行きました！！

各学校が感じているメリットや苦労している点を聞いてきました。また校庭だけでなく、中庭などを芝生化している学校もあります。各学校で芝生化を検討する材料になればと考えています。



「芝生化している学校の状況報告」

- 1 西湘高等学校
- 2 住吉高等学校
- 3 横浜国際高等学校
- 4 視察を通して



過去に芝生化を実施した県立学校の芝生の状況や管理の仕方を聞いてきました。

1 西湘高等学校

<芝生化をした場所>

- ・ 正面玄関前のスペース



正面玄関の左右のスペースに植栽と芝生のスペースがあります。来校者を気持ちよく迎えます。

<芝生化をした場所>

- ・ 中庭スペース



憩いのスペースとして、ベンチで昼食や休憩をとる生徒がいるとのこと。

<芝生の管理状況>

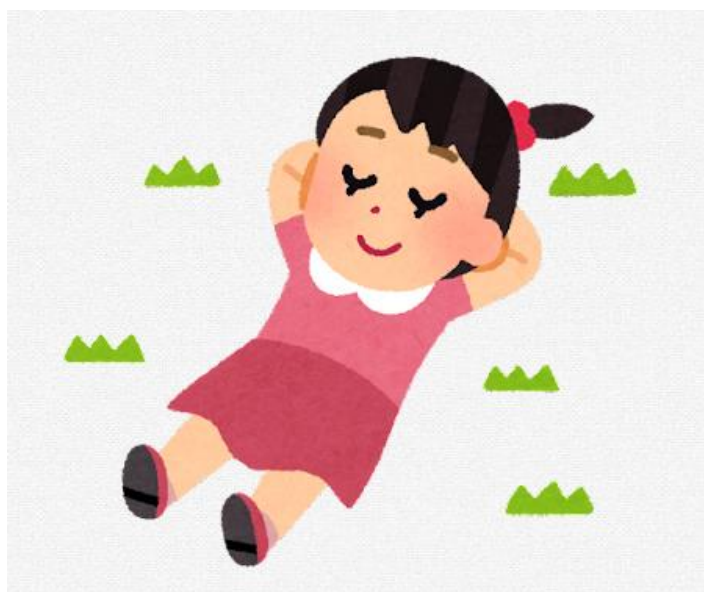
- 定期的な刈込
- 散水は特になし
- 肥料不使用

技能員さんが定期的に刈込をしているとのこと
です。その他には、特に管理をしていない
とのことですが、芝生はしっかり根付いてい
ます。



<芝生化のメリット>

学校の緑化及び憩いのスペースとしての活用。生徒のリラクゼーションやリフレッシュの場と活用



2 住吉高等学校

<芝生化をした場所>

・中庭スペース（旧テニスコート）



中庭にあったテニスコートを芝生化スペースに。現在は残念ながら、工事車両の駐車スペースになり、特に使われてはいないとのこと。

日当たりがよく、散水等なくても芝がよく育っている。学校の横の道を通る保育園の先生から、芝生の場所を使いたいと声をかけられることもあるそうです。

<芝生化をした場所>

- ・ 図書室横のスペース



図書室の横のスペースを芝生化している。図書室が別棟になっているので、昼食をとったり、休憩スペースとして使用。日当たりもよく、芝の状態はかなり良好。図書室側から芝生を見て、ゆっくり休む生徒が多いとのこと。

<芝生化をした場所>

・校庭の一部



校庭の端の部分、野球部のバッティングゲージ付近を芝生化している。ゲージ内は一部、芝が減少しているが、その周りの状況は良好。



<芝生化をした場所>

・校庭の一部



校庭の多目的広場を芝生化。普段は、ラクロス部が使用しているため、ゴール前の部分は芝生が減少している。使用頻度が低い部分については芝生が定着をしている。



<芝生の管理状況>

- ・ 定期的な刈込
- ・ 散水は特になし
- ・ 肥料不使用



<学校で使用している芝刈り機 2種類>



<芝生化のメリット>

憩いのスペースとしての活用。部活動で運動ができる場所としての活用。運動する場所においては、砂塵が少ない。



憩いのスペースとしての活用だけでなく、部活動などで使用するスペースもある。運動で使用するスペースについては、活動頻度や強度によっては減少しているところもあるが、ほぼ毎日活用されているとのこと。

3 横浜国際高等学校

<芝生化をした場所>

- ・校庭全面



県立高等学校で唯一の校庭全面芝生化している学校です。
11月だったので緑の部分が少ないですが、ぜひ次回は夏の青々した芝生を見たいです。

<芝生の管理状況>

・ 定期的な刈込

令和3年度導入の芝刈り機で夏場は週に1度刈込を実施。



- ・ 定期的な散水
- ・ 年に数回の施肥



<学校にあるガンタイプの
スプリンクラー>

<芝生の管理状況>

・令和4年7月芝生の補植



芝生の減少が激しいサッカーゴール前（赤枠の部分）を補植した。
普段の活動も一部の芝生に負担がかからない様に活動場所を少しずつ移動して実施をしている。



<芝生化のメリット>

グラウンドで座る、寝転ぶことができる。転んだ時のケガが少ない。外観がとてもキレイで、砂塵も少なく近隣住民からも評判がいい。



4 視察を通して

<様々な活用方法>

・校庭全面を芝生化するのは、ハードルが高く感じますが、憩いの場やリフレッシュスペース、軽い運動（ストレッチスペース）など様々な活用方法があります。

食事をしたり、休憩をする程度の使用なら、日当たりがよい場所であれば細かい散水や施肥をしなくても良好な状態を維持できている学校が多いと感じました。



<維持管理の方法等>

定期的な刈込は必要。散水や施肥は運動するスペースとして使用する場合には、考慮した方がよい。

3校とも、技能員さんが刈込を担当されていました。日当たりがよい場所で、強い運動をしなければ、散水、施肥をせずとも良好な状態でした。運動するスペースでは、散水や施肥をしながら、また活動で配慮が必要になるかもしれません。



<苦勞している点>

- ・刈込に時間と手間がかかる。



3校ともに、一番苦勞されている点は、刈込の大変さでした。特に夏場は、刈込の頻度が多くなるということです。

西湘高校と住吉高校の2校は、定期的な刈込の実施だけで、良好な状態を維持していました。

横浜国際高校は、校庭の全面ということで、散水や施肥、活動の工夫等、丁寧な管理をされていました。

最後に

- 芝生化に取り組んでいる学校の状況をお伝えし、これから芝生化に取り組みたい学校を増やしていきたい！！

御協力いただいた学校の関係者の皆様、ありがとうございました。
ぜひ芝生化のご検討をよろしくお願いします。

